

第10回教育研究評議会記録

日 時 平成25年1月9日(水) 15:30~16:25

場 所 柏原キャンパス事務局棟 大会議室

出席者 長尾, 栗林, 若井, 越桐, 成山, 野田, 横井, 石田, 高橋, 田中, 小山, 伊藤,
入口, 鈴木, 久田, 安部, 辻岡, 土井, 横山, 大脇, 林, 吉田(22名)

陪 席 野口監事

傍聴者 田中ひかる准教授

開会に先立ち、長尾学長から平成24年度第9回教育研究評議会の記録確認がなされた。引き続いて、議事の進め方については開催通知の順番に進める旨の発言がなされた。さらに、傍聴申請があった1名に対して議題(1)以外の傍聴が認められた。

議題(1) 平成25年度教員人事について

長尾学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題(2) 平成26年度学部学生募集人員について

横井副学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題(3) 平成26年度大学入試センター試験の利用方法について

横井副学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題(4) 平成26年度個別学力検査等の概要について

横井副学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

議題(5) 平成26年度における特別入試(推薦入試)の実施について

横井副学長から資料に基づき説明が行われ、原案どおり了承された。

報告事項(1) 平成26年度入学試験関係日程について

横井副学長から資料に基づき報告がなされた。

報告事項(2) 文部科学省とのミッションの再定義に関する意見交換会について

長尾学長から報告がなされた。

【主な質疑】

・本学教養学科の改組について、文部科学省から平成26年度の実施は待つて欲しいとのコメントがあったとのことであるが、一部大学の教養教育問題が報道で取り上げられ、そのことと関連していると考えられるかとの質疑に対して、関連していないと考える。教養教育の問題とも無関係ではないが、むしろ新課程問題と関連しているのではないかとの答弁が長尾学長よりなされた。

・教養学科の改組について、文部科学省への説明の際に、改組の理由・目的といったエビデンスは用意していったが、先方から求められたのは社会からどのような要請があるかといったエビデンスであった。本学としては今後説明を継続していくにあたり、学内的なデータだけでなく、多角的なデータを用意する必要があるとの意見が高橋教養学科長よりなされた。

・教職大学院に関する質疑に対して、文部科学省から取り組みはどうなっているかといった質問があり、本学としては様々な問題を見極めながら検討を重ね、準備は進めていると回答した。文部科学省としては大学として教職大学院が視野に入っていれば結構であるという様子であったとの答弁が長尾学長よりなされた。

報告事項（3）グリフィス大学（オーストラリア）との間の交流協定の締結について
栗林理事から資料に基づき報告がなされた。

以 上